



美濃加茂 24景

(問) みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム ☎28-1110

22 大手町公園

美濃太田駅北口の西側には、現代的な彫刻が置かれた公園があります。1988年、第1回目の美濃加茂彫刻シンポジウムがここで開かれ、7点の彫刻が設置されました。国際的に活躍する気鋭の作家が現地制作に取り組み、121の企業が協賛するなど、市を挙げて盛り上げられました。

シンポジウムの開催を推し進めた市内在住の彫刻家・佐光庸行は、柔らかい面の重なりが美しい石の彫刻『五層の風』を作りました。国内外で盛んに野外彫刻を制作した眞板雅文は、鉄で枝葉を形作った『協奏する木立ち』を設置しました。公園の中央には、古代の神像を想起させる塚本悦雄の『空の神様』や、時と共に石が風化する八木麟太郎の彫刻『始まりの中で』などが置かれました。高台には、韓国から参加した作家の石彫も建てられました。

彫刻は今も、列車で美濃加茂を訪れる人たちや公園で憩う市民を見守るように、静かに佇んでいます。どの作家も心の奥底に、自然や歴史に対する共通の思いがあったのでしょう。彫刻群は、互いに響きあうように荘厳な景観を作り出しています。

あれから30年がたちました。まるで現代の遺跡のようにも見えてくる不思議な風景です。